

### Ⅲ 園内研修

#### 1 研修日数及び時間

- (1) 年間10日程度（月に1回程度）とする。
- (2) 研修時間は、1日4時間程度とする。

#### 2 研修内容

園内研修の内容は、「一般研修」と「保育研修」とする。

##### (1) 一般研修

- ① 「6 園内研修項目（例）」を参考に、各園の実情に合わせた内容で実施する。
- ② 講義形式だけでなく、演習や実技等の形式を適宜取り入れ、実践的な内容になるよう工夫する。

##### (2) 保育研修

- ① 「保育実践」「保育参観」「講義・演習」「公開保育」を実施する。
- ② 「保育実践」においては、研修教員が研修指導員の指導の下、保育実践を行う。
- ③ 「保育参観」においては、研修教員が他の教職員の保育を参観する。その際、他年齢児クラスの保育についても参観できるように配慮する。
- ④ 「講義・演習」においては、研修指導員が、研修教員の保育実践についての指導・助言や、保育技術に係る講義、演習等を行う。
- ⑤ 園内において「公開保育」を行う。その際、研修教員の負担にならない範囲で保育指導案（略案）を作成するとともに、事後検討会を実施することが望ましい。

#### 3 研修方法

- (1) 主として、研修指導員が指導に当たる。ただし、園内組織を活かし、園長、副園長・教頭、主任等の指導・助言等、それぞれの担当者の協力を得て行うこと。
- (2) 各園の年間計画や月計画、週計画に組み入れるなど、園長は確実に実施できるよう措置を講じる。
- (3) 各園の年間計画に位置付けられている他の園内研修（園内研究、指導主事訪問等）との一体化を図ることが望ましい。ただし、年度当初の園内研修計画に記入されていないものについては、研修時数には組み入れない。

#### 4 研修記録

- (1) 研修教員は、園長、副園長、教頭、主任等の指導及び助言の下、園内研修に係る研修の記録（様式例参照）を作成する。
- (2) 研修の記録は、各園においてその累積と保管を行う。

## 5 園内研修項目（例）

(1) 幼稚園等新規採用教員研修に関する文科省モデル（抄）による（平成16年3月通知）

領域	研修項目（例）
基礎的素養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園の教育目標、方針の理解</li> <li>・ 地域の理解と活用</li> <li>・ 園務分掌</li> <li>・ 健康安全指導の進め方</li> </ul>
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級事務の進め方</li> <li>・ 保護者の理解と家庭との連携の仕方</li> <li>・ 保護者会の進め方</li> </ul>
教育課程 〈指導計画〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週、日案の作成の方法</li> <li>・ 指導の実際</li> <li>・ 遊びや生活の仕方の指導と実際</li> <li>・ 行事の考え方と実際</li> <li>・ 環境構成の考え方と実際</li> <li>・ 園具、教具等の工夫</li> <li>・ 保育の展開と反省・評価</li> </ul>
幼児理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の理解と指導の実際 ・ 幼稚園教育における評価の考え方</li> <li>・ 記録の取り方と指導要録の記入の実際</li> </ul>

(注) 1 教育課程(指導計画)における研修項目「指導の実際」では、遊びを中心とした幼稚園生活の流れを通して、総合的な指導を行うことに十分配慮すること。なお、歌の指導、絵本の読み方、飼育・栽培物の世話、食事や片付け等、実技を中心とした観点にも配慮すること。

2 幼児理解における研修項目「幼児の理解と指導の実際」では、具体的な場面の中で一人一人の幼児に応じた指導を進める観点に配慮すること。

(2) 研修項目例の利用に当たっての留意事項

幼稚園等新規採用教員研修に関する文科省モデル（抄）を参照すること。